

創業90周年記念出版

21世紀の保育を見つめて、今、保育の基本を問い直す

幼稚園教育要領や保育所保育指針の中で示されている「保育の基本」は、さまざまな形に受容され実践に移された。しかし、そこに誤解に基づく混乱はなかったか。本シリーズは、具体的な事例を通してその混乱をただし、あるべき保育の姿を提案します。

保育の基本〈全6巻〉

- ◆第1巻 環境を通しての保育とは
- ◆第2巻 生活と遊びを通しての保育とは
- ◆第3巻 個と集団を生かす保育とは
- ◆第4巻 自由の中で規律が育つ保育とは
- ◆第5巻 発達に合わせて援助する保育とは
- ◆第6巻 総合的指導による保育とは

最新刊

編集委員 森上史朗（青山学院大学教授） 高杉自子（子どもと保育総合研究所長）
今井和子（東京成徳短期大学助教授） 後藤節美（別府市・石垣幼稚園長）
田中泰行（東京都・向南幼稚園長） 渡辺英則（横浜市・港北幼稚園副園長）

●今、特に問題となっていることを各巻のテーマに
保育現場で、今特に問題となっていること、誤解されていること、混乱していること、見直されつつあることなどを取り上げ、各巻のテーマにしています。

●子どもに寄り添う保育を
「子どもから」という発想を軸に、子ども理解、一人一人を見る、集団生活の意味や表面的な行動の奥にある意味を見る、ということを考えつつ、子どもに添った保育のあり方を考えていきます。

●これからの保育への提案
次回に予想される教育要領の改訂をも視野に入れながら、これからの保育のあるべき姿を考察し、どう実践していったら良いかを具体的に提案していきます。

A5判・216頁 セット定価：本体12,000円＋税

キンダーブツの
フレーベル館